

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和元年12月26日更新

事務事業名	学校施設点検事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9 義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名	岩間 美咲希
	施策の柱	36 義務教育施設の整備	所属班	総務施設班	(内線)	5313
予算科目	会計一般	款 10	項 1	目 2	事業連番 10717	根拠法令 消防法、電気事業法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市内全小中学校施設(校舎・体育館等)を適正に維持するための各種の管理委託業務を行う事業。(簡易専用水道・消防用設備・電気設備・エレベーター設備・太陽光発電設備)法律によるものや機械設備の管理として外部委託により実施している。状況として特別な変化はない。
【業務の流れ】	長期継続契約を締結しているものについては継続的に業務を行ってもらい、年度毎の契約が必要なものについては業者との契約を行う。それぞれの契約業者について手配・完了検査・代金の支払い業務を行う。
【主な予算費目】	役務費・委託料
【意見や要望】	特別にはない。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	市内全小中学校施設(校舎・体育館等)を適正に維持するため設備機器の保守点検業務を委託した。(簡易専用水道、消防用設備、電気設備、エレベーター設備、太陽光発電設備)	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 点検項目数	件
→	イ	長期継続契約(エレベーター保守管理・消防用設備点検)の実施額計上のため委託料の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市内全小中学校の施設	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
→	イ	ア: 学校数 校
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	学校施設の異常の有無を確認する。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
→	イ	ア: 点検を行った学校数 校
		イ: 全学校の中で点検業務を行った学校数の割合 %
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
市内全小中学校施設について保守点検は等しく行われるべきものであるため、上のおり成果指標を設定している。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込	
① 活動指標	ア	件	5	5	5	5	5	5	5	5	
	イ										
② 対象指標	ア	校	10	10	10	10	10	10	12	12	
	イ										
③ 成果指標	ア	校	10	10	10	10	10	10	12	12	
	イ	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	4,922	4,960	8,778	5,179	5,628	7,712	9,255	9,255
		(A)のうち指定経費	千円	4,922	4,960	8,778	5,179	5,628	7,712	9,255	9,255
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	2	3	2	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	150	170	130	170	130	130	130	130
(B) 人件費計	千円	0	672	517	670	517	517	517	517		
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,922	5,632	9,295	5,849	6,145	8,229	9,772	9,772		

事務事業名	学校施設点検事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 長期継続契約等にて例年同様の保守点検を行うため現状維持が可能である。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 法律に基づくものや任意での保守を行っていることから現状維持が妥当である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 学校施設を管理するうえで必要である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 点検項目によっては、一部他の公共施設と一緒に発注しているものもあるが、その他にもまとめて発注できるものもあるので、経費の削減は可能である。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で対応しているので、余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 学校全体にかかるものであり、また、市内全小中学校施設を実施している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の施設を法律等に基づいて保守点検をしていることから行政で行うことが適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

各々の保守について改善事項等あるものについては改善を実施した。効率性評価については記載のとおりであるが、長期継続契約等で契約期間が終わっていないものもあるため契約更新時期に考慮する必要がある。新たに実施するものについては契約更新時期を合わせることでこの点を改善していく予定である。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						